

TEAM MINORU JUNIOR HIGH SCHOOL チーム身延中

令和7年度 身延中 学校だより
発行者：校長 小田切 武

NO.2 令和7年5月13日

「チーム身延中」の構築をめざして ～「身延中スタンダード」の徹底～

身延中学校は、学校教育の充実に向けた合い言葉として、「チーム身延中」「身延中スタンダードの徹底」を掲げています。「チーム」には、関係するすべての方が含まれ、学校では、保護者や地域の皆様はもちろん、生徒・教職員の他、学校生活を支えてくださる全ての皆様がチーム身延中の一員であり、応援団だと考えています。特に、保護者の皆様には、これからも様々な場面で学校と連携していただき、「チーム身延中」の中核として共に進んでいただけるようお願いいたします。

年度始めの集会で【身延中スタンダード】について話をしました。この身延中スタンダードは、新生・身延中が9年前にでき、統合した学校を充実させるために、生徒の皆さん・先生方・保護者や地域の方の心が一つになるように、そして一つの「チーム身延中」として学校を発展させていけるように、などの願いが込められて決められたものです。改めてこの【身延中スタンダード】を柱にした生活が展開できるよう、意識して諸活動に取り組んでいくことが大切だと感じています。

【身延中スタンダード】は、「学校生活スタンダード」「授業スタンダード」「家庭生活スタンダード」にまとめられています。その根本になっているのは、学校教育目標にある「目指す生徒像」(①自ら学ぶ生徒 ②思いやりのある生徒 ③たくましい生徒 ④進んで働く生徒)です。一つ一つの項目の意味や願いを考え、毎日の生活や授業をはじめ様々な活動や行事の中で、生徒同士や先生方とともに、「チーム身延中」として充実した取組につなげていけたらと思っています。

「チーム身延中」の一員として 「身延中スタンダード」を自分のものにしよう!

身延中の求める「めざす生徒像」(「学校教育目標」より)
(1) 自ら学ぶ生徒 (2) 思いやりのある生徒 (3) たくましい生徒 (4) 進んで働く生徒

学校生活スタンダード

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 自分の行動に責任をもつ。 | 6 あいさつをする。 |
| 2 目標をもち、最後まであきらめない。 | 7 正しい身なりをする。 |
| 3 他人の立場を思いやる。 | 8 身のまわりの整理・整頓をする。 |
| 4 話をきちんと聴く。 | 9 精一杯働く。 |
| 5 時間を守る。 | 10 ものを大切にする。 |

授業スタンダード

- 【事前の準備】
1 宿題や復習は、家でやっておく。
2 授業が終わったら、次の授業に必要なものを机の上に置き、休み時間にする。
- 【活動の姿勢(主体性)】
3 わからないところはわかる人に遠慮しないで訊く。
4 わかるまであきらめない。
5 わかったふりをしない。
- 【関わり合い(協働性)】
6 人の意見を尊重する。
7 訊かれたら、やさしく丁寧に教える。
8 困っている人を助ける。
- 【聴き方】
9 発表者の方を向いて、発表内容を聴く。
- 【発表の仕方】
10 指名されたら返事をし、みんなに聞こえるように発表する。

家庭生活スタンダード

- 1 家に帰ったら、学校からの通知を家の人に必ず渡す。
2 自分で決めた時間で家庭学習をする。
3 家族の一員として仕事を一つはやる。
4 学校であったことを家の人に伝える。
5 スマホ・携帯は、必要な場合以外は22時以降使わない。
(電源を切るか、家の人に預ける。)

3年 修学旅行

3年生は、4月22日(火)～25日(金)の3泊4日、広島・奈良・京都に修学旅行に行ってきました。スローガンは「一期一会 ～世界の平和 大和の歴史 仲間との輪～」。

インターネットや書籍では得られないことを、五感を働かせて、見て、聴いて、感じて、たくさんの学びのある旅行となりました。

1日目は小雨の中、宮島の世界遺産・厳島神社からスタートしました。平和公園での献鶴式では、生徒が平和への誓いを読み上げている中、周囲で聞いていた一般の方が涙している場面もありました。被爆者講話では、山瀬潤子さんの話から当時の凄まじい状況が脳裏に浮かび改めて戦争の悲惨さ怖さを実感することができたのではないかと思います。

2日目は奈良に移動し、法隆寺、薬師寺、東大寺を中心に奈良公園の自主見学が行われました。薬師寺での法話は、楽しさの中に人生における教訓がちりばめられ、貴重な出会いを感じることができました。

3日目は京都の自主見学です。神社やお寺の建物、庭・仏像をはじめ、古都の歴史を目の当たりにしたことは、何ものにも代え難い経験だったと思います。

4日目は、高台寺での座禅体験と清水寺見学でした。自分の人生は自分が主役であるという言葉が印象的でした。また、4日間の仲間との生活を通して得たことも大きかったと思います。集団として、組織として行動するために考えたり行ったりした心遣いは、いろいろな場面で発揮され、それに助けられたり、心が温かくなった人も多かったのではないかと思います。

そして、旅行中のキーワードとしては、「全体の中・公の中」がありました。公私の区別をつけ、状況を判断し、社会に生きる一人としてどのように振る舞えばよいかを考える好機となったと思います。

3年生はこれからの身延中学校の中心的存在です。身につけた団結力で、学校をリードしてほしいと思います。



2年 県内めぐり

2学年は、4月22日(火)～23日(水)に県内めぐりを実施しました。「とも～ともに」「協力する」「考える」「感じる」2日間にしよう」をスローガンに掲げ、中学校に入って初の宿泊を伴ったイベントが行われました。1日目の甲府市内自主見学は、自分たちが作った行程表を元に、武田神社、善光寺、県立美術館、県立図書館、県立科学館、印傳屋、NHK 甲府放送局など、神社仏閣や文化施設等を訪れ、しっかりと学んでくることができました。宿舎の朝霧野外活動センターでは、ナイトハイクを行いました。2日目は、富士芝桜まつり、富士山世界遺産センターでは、富士山が信仰の対象と芸術の源泉という点において、世界文化遺産となった経緯について説明を受けたり、午後には、リニア見学センターで、構造模型や装置により超伝導の仕組みを学んだりしました。これらの経験を来年度の修学旅行に生かして欲しいと思います。



1年 校外学習

1年生は、4月22日(火)に「みのぶ自然の里」へ校外学習に出かけました。スローガンは「発見～私たちの良さと身延町の自然～」。身延中学校に入学して約3週間。新しい仲間と交流し、相互理解を深め、学年・学級の仲間づくりに向けて、学年委員の皆さんを中心に準備を進めてきました。当日は1年生全員で楽しく安全に活動することができました。斧で丸太を割る薪作りから始まり、火起こし、食材カット、ダッチオーブンでカレーを煮込み、美味しいカレーを作ることができました。ウォークラリーもスムーズにゴールできました。しかし、行動の切り替えや見通しながら行動することなど課題もみられました。これからの中学校生活の中でよかったところを更に伸ばし、課題点についてはみんなで改善できるようにして欲しいと思います。



3年 全国学力・学習状況調査

4月15日(火)に質問調査と理科を、タブレット端末を使ったCBT(Computer Based Testing)で回答し、4月17日(木)には、国語と数学の全国学力・学習状況調査が多目的室で行われました。CBTで回答するのは今回が初めてでしたが、特に混乱もなくスムーズに行うことができました。CBTでは受験者の解答履歴や学習の進行状況をデータとして蓄積することができ、これをもとに学力分析や指導の改善計画を立てることもできます。また、学力の動向を大規模に収集することができ、教育政策や改善策に役立てられるメリットがあると言われています。さらにCBTシステムの活用によって、生徒も学校もすぐに結果を知ることができ、学力の向上に役立てやすくなり、受験者は自分の強みや弱点を素早く把握し、その改善に取り組みやすくなります。文科省は令和9年度から全面CBT化を行う予定となっています。今回の結果については、3年生ばかりでなく職員全員で分析し結果を共有する中で、課題点については改善を図っていきたいと思います。



避難訓練

4月30日(水)避難訓練を行いました。新校舎になって1年間が経ちましたが、避難経路をより良い経路に変更し改善を図るなどして実施しました。南海トラフ地震が危惧され、いつ災害に見舞われるかもしれない中、備えはとても大切です。5月には引き渡し訓練が予定されています。防災意識を高めていくことができればと思います。



授業参観・PTA総会

5月2日(金)には、今年度最初の授業参観が行われ、その後、PTA総会・学年部会・部活動保護者会が実施されました。たくさんの保護者の皆様にご参加いただき、大変心強く感じました。今後ともよろしくお願いします。

